

資本論発刊140周年

2007

社会主義ゼミナール

テーマ:「資本論」と新自由主義

日時 2007年11月11日(日)
13:30~16:30

会場 **PLP会館**
JR環状線「天満」駅徒歩5分/地下鉄「扇町」駅徒歩3分

参加費 **1000円**



講師 **神津 朝夫さん**
こうづ・あさお◎学術博士・歴史研究者

1953年東京生まれ。早稲田大学政経学部卒。入学直後より「向坂村塾」に参加し、『資本論』を学ぶ。大学院博士前期課程修了後、ドイツ・マンハイム大学経済学部に留学。学術博士。論文に「『資本論』体系の成立をめぐる一プラン問題への一視点」(『唯物史観』28号)など。fster Band.

B『資本論』入門講座 開設にあたって。

今の政治状況は、まるでマルクスが描く19世紀の資本主義に逆戻りしたかのようです。フリーターという名の時給制労働者、長時間労働と労働強化。そして資本の側も規制緩和と安価な輸入製品による競争激化で弱小資本は破滅です。「資本主義は変わった、マルクスはもう古い」などと、もう言えません。マルクスの徹底的な資本主義の分析は、今やむしろ新鮮でさえあります。「ここで述べられているのは、君のことなのだよ」(第1版への序文)

予備知識はまったく不要です。「資本論」の内容をやさしく解説していきますので、みなさん一緒に読んでみましょう。

近畿資本論入門講座 [2007.12.9~2008.11]

日 時 ◎ 毎月1回×12ヶ月
第2日曜日 (13:00~17:00)

主 権 ◎ 近畿資本論入門講座実行委員会

講 師 ◎ 神津 朝夫さん

参加費 ◎ 年会費 12,000円 (2回の分割納入可)
大学生 6,000円

【カリキュラム予定】

- 1) 『資本論』について、商品の二要素と労働の二重性 (第1巻第1章1・2節)
- 2) 価値形態と物神性、交換過程 (第1巻第1章3節~第2章)
- 3) 貨幣の機能、貨幣の資本への転化 (第1巻第3章~第4章)
- 4) 絶対的剰余価値の生産、不変資本と可変資本 (第1巻第5章~第6章)
- 5) 剰余価値率・労働日・剰余価値の率と量 (第1巻第7章~第9章)
- 6) 相対的剰余価値の概念、協業・マニュアルファクチャ・大工屋 (第1巻第10章~第13章)
- 7) 絶対的剰余価値と相対的剰余価値の生産、労働賃金 (第1巻第14章~第20章)
- 8) 資本の累積過程、資本主義的累積の一般的法則 (第1巻第21章~第23章)
- 9) 本源的累積と地租地代 (第1巻第24章~第25章)
- 10) 第2巻「資本の流通過程」の概要
- 11) 第3巻「資本主義的生産の総過程」の概要
- 12) 帝国主義と現代資本主義



主催 **2007社会主義ゼミナール実行委員会**

大阪市北区天神橋筋六丁目1-24 米田ビル4F
TEL: 06-6353-3072